

各 位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 取締役社長執行役員営業部門統括 湯川 直人
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 常務取締役執行役員管理部門統括 尾崎 彰
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,150	90	95	57	8.11
今回発表予想(B)	5,949	330	331	194	27.48
増減額(B-A)	799	240	236	137	
増減率(%)	15.5	266.7	248.8	239.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,062	△497	△476	△774	△108.95

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	180	190	115	16.22
今回発表予想(B)	11,300	460	460	265	37.37
増減額(B-A)	1,000	280	270	150	
増減率(%)	9.7	155.6	142.1	130.4	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	8,730	△694	△704	△1,149	△161.89

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	0	45	30	4.23
今回発表予想(B)	3,403	17	55	49	6.91
増減額(B-A)	103	17	10	19	
増減率(%)	3.1	—	23.8	63.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,307	△371	△371	△633	△89.08

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,600	0	90	60	8.46
今回発表予想(B)	6,600	0	90	60	8.46
増減額(B-A)	0	0	0	0	
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	5,213	△565	△595	△945	△133.20

修正の理由

世界経済は先進国の高水準の失業率や財政懸念等、引き続き厳しい状況にあるものの、新興国を中心とした需要は回復しております。わが国経済も、デフレや厳しい雇用情勢等、深刻な状況ではありますが、製造業の生産や輸出、設備投資には回復の動きがみられるようになっております。

連結業績につきましては、当社の想定以上に東アジア、東南アジアの受注・売上が回復・拡大したこと、日本国内においても電子部品関連の需要が回復基調であったこと等により、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を799百万円上回る5,949百万円となりました。損益面におきましても、売上高の増加に伴う売上総利益の増加、原価低減努力や工場操業度の上昇による売上総利益率の上昇等により、営業利益は330百万円(前回予想比240百万円増)、経常利益は331百万円(前回予想比236百万円増)、四半期純利益は194百万円(前回予想比137百万円増)となりました。通期につきましては、東アジア、東南アジアの需要は引き続き回復基調ではありますが、世界経済の停滞による年度後半の減速を予想し、売上高11,300百万円(前回予想比1,000百万円増)、営業利益460百万円(前回予想比280百万円増)、経常利益460百万円(前回予想比270百万円増)、当期純利益265百万円(前回予想比150百万円増)を見込んでおります。

個別業績につきましては、ほぼ想定通りに受注・売上が回復しており、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を103百万円上回る3,403百万円となりました。損益面におきましても、売上高の増加に伴う売上総利益の増加、原価低減努力や工場操業度の上昇による売上総利益率の上昇等により、営業利益は17百万円(前回予想比17百万円増)、経常利益は55百万円(前回予想比10百万円増)、四半期純利益は49百万円(前回予想比19百万円増)となりました。通期につきましては、円高の影響や自動車、家電の景気刺激策の反動等による年度後半の停滞が予想されますが、引き続き競争力強化による受注拡大、諸経費の削減を図ることにより、前回予想値から変更しておりません。

以上